

平成28年度
『福祉即戦力人材養成科』

開催概要

今後の福祉人材キャリアパス

日本の急速な高齢化の進行と同時に、介護保険制度の導入以降、介護サービスの量的拡大が図られている。また、利用者本位の視点の重視、サービス利用者の権利意識やコスト意識の芽生えとともに、サービスの質的向上が求められている。

こうした状況に対して、厚生労働省は「介護人材の養成体系の見直し」を下記のようにまとめた。

- 1) 今後のキャリアパスは、「初任者研修修了者⇒介護福祉士(実務者研修修了者を含む)⇒認定介護福祉士」を基本とする。
- 2) 訪問介護員(ホームヘルパー)2級相当の研修を初任者研修と位置づけ、訪問介護員1級相当の研修と介護職員基礎研修は、実務者研修に1本化する。
- 3) 実務者研修は、研修時間を450時間とし、働きながらでも研修を受講しやすい環境を整備する。

平成28年度 『福祉即戦力人材養成科』 とは

介護職員初任者研修過程①に、実務者研修450時間のうち200時間（地域研修②）を加え、さらに施設実習・ビジネススキル等向上のための追加研修③を加えた5ヶ月間の離職者向け訓練。介護・福祉事業所での即戦力人材となるよう養成と就職を目指す。

《科目一覧》

平成28年度 福祉即戦力人材養成科 訓練メニュー(仮)

介護職員初任者研修過程①に、実務者研修450時間のうち200時間（地域研修②）を加え、さらに施設実習・ビジネススキル等向上のための府独自の追加研修③を加えた5ヶ月間の離職者向け訓練。介護・福祉事業所での即戦力人材となるよう養成と就職を目指す。

介護職員初任者研修過程①	時間数	地域研修② (実務者研修・修了認定研修)	時間数	追加研修③	時間数
職務の理解	6				
介護における尊厳の保持・自立支援	9			介護過程(演習)	12
		社会の理解Ⅱ	30	実習(8H×12日間)	96
介護の基本	6	介護の基本Ⅱ	20	福祉分野 実習事前18H・事中6H・事後演習8H	32
介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9			人間の尊厳の理解	6
介護におけるコミュニケーション技術	6	コミュニケーション技術	20	障害者支援に関する資格取得講座 調整中	24
				福祉即戦力人材養成科振り返り	4
老化の理解	6	発達と老化の理解Ⅰ	12		
		発達と老化の理解Ⅱ	20		
認知症の理解	6	認知症の理解Ⅱ	24	ビジネスマナーⅠ	3
				ビジネスマナーⅡ	3
障害の理解	3	障害の理解Ⅱ	24	その他 就職活動応用(履歴書の書き方)	5
				就職活動応用(面接対策)	6
こころとからだのしくみと生活支援技術	75	こころとからだのしくみⅡ	60		
振り返り	4				
小計	130	小計	210	小計	
実務者研修履修時間(①+②)(脱替え可能時間)			330		
合計			531		

《講義スケジュール》

平成28年10月

初任者研修＋
社会人マナー

12月

実習

12日間

平成29年1月

地域研修

平成28年度 『福祉即戦力人材養成科』 講師養成

平成27年度は、37事業所から88名の方に講師として出講頂き、北部地域での介護職員初任者研修や実務者研修に読み替えのできる地域研修の基盤整備の一助を担いました。

今後は、この出講者の経験やスキルを活かし、北部地域での取組につなげます。



昨年に引きつづき【平成28年度テーマ】

講師資質向上研修会等により、講師の方のレベルアップを図る

●講師出講者向け研修会(予定)

■講師養成研修

【対象】福祉即戦力人材養成科(仮称)の講師出講者

- ・講師初級コース 9月2日(金)10:00~12:30 (予定)
野田川わーくぱる
- ・講師中級・上級コース 9月6日(火)13:00~17:00(予定)
市民交流プラザふくちやま

■講師向け連絡会(地域研修分)

【対象】地域研修の講師出講者

- ・(中丹会場)10月19日(水) 10:00~12:30
市民交流プラザふくちやま
- ・(丹後会場)10月20日(水) 10:00~12:30
野田川わーくぱる

■講師向け連絡会(初任者研修分)

【対象】介護職員初任者研修過程の講師出講者

- ・(中丹会場)8月25日(木) 9:30~12:00(予定)
市民交流プラザふくちやま
- ・(丹後会場)8月19日(金) 9:30~12:00(予定)
野田川わーくぱる

■実習指導者研修会

【対象】実習受け入れ担当者

- ・(中丹会場)10月19日(水) 13:30~15:30
市民交流プラザふくちやま
- ・(丹後会場)10月20日(木) 13:30~15:30
野田川わーくぱる

※希望者される方は、京都保育福祉専門学院の担当が行う講義等を見学することも可能です。

平成28年度

『福祉即戦力人材養成科』実施詳細

中丹エリア

期 間

- ・平成28年10月5日（水）～
平成29年3月3日（金）

会 場

- ・京都府立中丹勤労者福祉会館
（福知山市昭和新町105）
- ・市民交流プラザふくちやま
（福知山市駅前町400）
- ・
（舞鶴市）

募集人数

- ・25名

対象者

- ・福祉職を希望している離職者

丹後エリア

期 間

- ・平成28年10月5日（水）～
平成29年3月3日（金）

会 場

- ・京都府立丹後勤労者福祉会館
（京丹後市大宮町河辺3355）
- ・野田川わーくぱる
（与謝野町四辻161）

募集人数

- ・25名

対象者

- ・福祉職を希望している離職者

地域における講師人材の養成

今後の初任者研修、実務者研修及び地域研修の安定的な実施を目指すために、各科目の単元を担当する講師の推薦を各事業所に依頼いたします

事業所



事業所から講師候補を推薦



各研修講師

講師経験

新しいキャリア

やりがいの発見

地域における講師人材の確保・養成につなげる

講師出講の条件

条件

- 1) 各科目の講師要件に該当する
- 2) 修了時の評価ポイントを踏まえた講義ができる
- 3) 府北部地域の人材確保・育成の視点を持って、講義ができる

講師要件

○保健師・看護師、社会福祉士、介護福祉士、理学療法士、作業療法士 等
・・・・・・・・ 実務経験5年以上有する者

○介護支援専門員、精神保健福祉士 等 ・・・・・・・・ 実務経験3年以上有する者

○医師・・・・・・・・ 医師としての実務経験を有する者

○学識経験者、教員等・・・・・・・・ 実務経験を1年以上有する者

講師出講のメリットは？

法人・事業所

- 1) 地域研修の
実務者研修への読替
- 2) 情報発信
- 3) 職員間の連携
- 4) 職員のスキルアップ
- 5) 現場の欲する人材の
養成

講師（職員）

- 1) 伝達能力の
スキルアップ
- 2) 職場内の
新人育成への活用
- 3) 新たなやりがい発見
 - 仕事内容の振り返り

講師出講のFAQ①

Q1 テキスト・レジュメは講師が自分で作るのでしょうか？

A1 テキストは貸出します。レジュメは講師で作成ですが、京都保育福祉専門学院がアドバイスします。

Q3 研修の受講者はどんな方々ですか？

A3 ハローワークが行う離職者訓練の受講者です。年齢層は30代～50代が中心と思われます。

Q2 初めてで不安ですが、サポート体制はありますか？

A2 京都保育福祉専門学院が時間配分など講義案等サポートします。

Q4 推薦後、講師が対応できなくなったり、急なお休みの場合はどうしたらいいですか？

A4 分かった時点で事務局に連絡ください。日程調整、変更が可能な場合は後日補講にてご担当頂きます。

講師出講のFAQ②

Q5 講義を見学することはできますか？

A5 事前にご連絡頂き、見学可能な講義を調整いたします。

Q7 出講はいつ頃決まりますか？

A7 6月中旬には決定いたします。

Q8 講師出講の交通費はどうなりますか？

A8 交通費は実費お支払いいたします。また、講師謝金をお支払いします。 ※平成28年度より、(株)パソナよりお振込いたします。

初任者研修:1時間あたり5,000円
地域研修 :1時間あたり5,500円

Q6 講師経験はどのように活かせるでしょうか？

A6 今後、講師バンクを構築する予定です。地域での研修や各施設内研修の講師活動の幅が広がります。

Q9 推薦にあたって必要な書類はありますか？

A9 推薦の段階では必要書類はありません。決定後すぐにご提出いただく書類は「経歴書」「誓約書」「資格証の写し」です。